



せんしょう苑 望洋荘 便り

第157号
平成28年
12月発行

設立十五周年を迎えました

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 滉

ここに掲載する詩は、「やなせ たかし」という方で、高知県生まれで東京高等工芸学校図案科卒業で、漫画家であると同時に童話画家であり、詩人でもある作家です。昭和四八年、絵本『あんぱまん』を刊行。月刊『詩とメルヘン』を責任編集し創刊。昭和六三年『アンパンマン』シリーズの絵本の人気が高まり、『それいけ！アンパンマン』としてアニメ化。そのほかに『手のひらを太陽に』の作詞でも知られ、平成二五年、九十四才で逝去されました。高齢化していく過程での自分に起きていく心身の変化を詩に表現しているのかと思うと興味深く感じます。

〈老後の楽しみ〉

足が弱くて すぐころぶ

耳は遠いし 眼はかすむ

まいにちあぶない つなわたり

決死の冒険 サスペンス

これぞ 老後の おたのしみ

〈オイル〉

老いるとオイルが 不足する

何をするにも ギクシヤク ガタピシ

金属疲労の 限界だが

天命つきる その日まで

あくせく アクセル 踏み込んで

ままよ大たん ひた走る

今年も望洋荘やせんしょう苑を取り巻く皆様方の御支援で無事年の瀬を迎えることが出来ました。お陰様で、当法人「りんさく福祉会」も設立十五周年を迎えました。今回も、この一年間の望洋荘・せんしょう苑便りの巻頭言のタイトルを列挙しました。その中から私共職員の理念を些かなりとも感じ取っていただければ誠に幸いです。

(百四十五) せんしょう苑開設、初の百歳誕生 岡 幸さんを祝う

(百四十六) めくもりは言葉を超えてースキンケアの偉大な力ー

(百四十七) 鈴木一男様の百一歳を祝う

(百四十八) 春三月、百寿を迎えた阿部様、財津様、山崎様を祝う

(百四十九) 心電図検査を定期的にーこわい不整脈ー

(百五十) フレイルとサルコペニアー老いとともにー

(百五十一) 耳が遠くなった気がする、耳鳴りがする

(百五十二) 福祉ー介護と医療

(百五十三) 八月、お盆の時期を迎えてー日本人と死生観ー

(百五十四) 訪問診療、訪問看護で『親切』のできる範囲

(百五十五) 開業医における老人医療と危機管理ーその一

(百五十六) 開業医における老人医療と危機管理ーその二

お茶会

望洋荘

十二月十九日に、望洋荘・四倉ユニットでお茶会が催されました。
ユニットスタッフと栄養士でホットケーキを準備してくれました。果物などと一緒に
召し上がっていただいたのですが、皆さん最後はあんこで締められました。



クリスマス会

せんしょう苑



せんしょう苑で、十二月二十五日にみまや広場でクリスマス会を催しました。
職員の顔の福笑いや歌などで、楽しく盛り上がり上がっていたようです。その後、クリスマスプレゼントとして、入居者の皆さんにブランケットをプレゼントさせていただきました。



勉強会

望洋荘



望洋荘で十二月二十一日に勉強会を開催致しました。講師は協力医療機関でもある平井歯科医師にお願ひ致しました。講義は、嚥下機能や誤嚥性肺炎など、加齢による機能低下として重要な内容であるため、職員もメモを取りながら真剣に受講し、日々のケアに役立てようとしていました。

一月お誕生日の皆さん



【せんしょう苑】

- | | | |
|----|-------|-----|
| 島 | チヨ子 様 | 九一歳 |
| 竹内 | シゲ子 様 | 八九歳 |
| 山田 | スエ 様 | 八七歳 |
| 濱地 | トモ子 様 | 八二歳 |
| 吉田 | 喜和子 様 | 五九歳 |
- みまや東ユニット
みまや東ユニット
みまや東ユニット
みまや西ユニット
みまや西ユニット

【望洋荘】

- | | | |
|----|-------|-----|
| 野崎 | フミ 様 | 九八歳 |
| 佐藤 | 芳子 様 | 九六歳 |
| 目黒 | サダヨ 様 | 九五歳 |
| 渡邊 | ツル 様 | 九五歳 |
| 星野 | 葉子 様 | 九〇歳 |
| 藁谷 | 花子 様 | 八九歳 |
| 新妻 | 元子 様 | 八九歳 |
| 布川 | 房子 様 | 八六歳 |
| 鈴木 | 信子 様 | 八六歳 |
- 四倉ユニット
永崎ユニット
豊間ユニット
永崎ユニット
四倉ユニット
豊間ユニット
薄磯ユニット
四倉ユニット
勿来ユニット

編集後記

『望洋荘・せんしょう苑 便り』
平成二十八年 十二月三十一日発行
発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人 りんさく福祉会
介護老人福祉施設 望洋荘
電話 (0246)55-7373
地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑
電話 (0246)38-6331